



この人に聞きたい!

＜のぞみ福祉作業所＞ 施設長 森 伸也さん

今回は、障がいをお持ちの方々の生活・作業支援を行う生活介護施設「のぞみ福祉作業所」の施設長の森さんにお話を伺いました。

平成31年4月に近隣の住民の皆さまの御理解、御協力のもと現在の場所に「のぞみ福祉作業所」を再建しました。建物の南側のスペースは30名程度受け入れられる広さになりました。理由は災害時に一般避難所では避難生活が困難な、高齢者や障がい者、妊婦さんなどの援護が必要な方々が、避難のために集まれる場所とするためです。



とてもきれいな外観です→

←取材時も皆さんひたむきに作業に取り組んでいました



現在は18歳から54歳までの男性11名、女性12名が通所しています。作業の内容は、紙パックを再利用して紙すきハガキや名刺を作成したり、絵画やデザインに取り組む方もいます。重い障がいをお持ちの方もいますが、働く喜び、幸せを感じられるように支援しています。

最近、近隣の方々とイベントを開催しました。今後も開かれた福祉を追求したいです。そのためには私たちが地域活動に参加して存在を発信することが必要です。障がいをお持ちの方は親亡き後が課題になりますが、将来も安心して暮らせる環境を地域の皆さんと作り上げたいです。

笑顔が素敵な森さんです→



＜のぞみ福祉作業所＞所在地：南三陸町歌津字伊里前325-2
電話：0226-25-8200

理容所・美容所向けの衛生消毒講習会が開催されました

気仙沼保健福祉事務所では、管内の理容・美容組合加入者を対象とした衛生消毒講習会を毎年開催しています。今年度は10月28日に開催したところ、延べ90名の方にご参加いただき、ハサミやカミソリなどの器具の消毒やアタマジラミについてお話をしました。特に器具の消毒については、汚染物質の量を数値で示す機械を使用した実習を行い、正しい手法に基づいた洗浄と消毒の重要性をお伝えしました。



気仙沼保健福祉事務所ではこれからも理美容所において衛生的な営業を行えるよう、立入や講習会によって指導を継続していきます。

献血にご協力お願いします

献血とは、病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんのために、健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアです。皆さんの善意の献血によって、多くの患者さんの命が救われます。

現在、輸血に使用する血液は、人工的に造ることができず、長期保存することもできません。そのため、輸血に必要な血液を確保するためには、一年を通じて多くの方に継続してご協力いただく必要があります。

近年、全献血者数に占める若い世代の割合が減少しています。少子高齢化等の影響により、献血可能人口が減少している中、若い世代からの協力が得られなくなると、将来必要な血液量を確保できなくなるおそれがあります。将来の献血基盤を支えていくためには、皆さんの協力が不可欠です。

献血は身近にあるボランティアです。ぜひご協力をお願いします。

宮城県献血推進キャラクター
「献血アニメむすびれ」



©宮城県・旭プロダクション

准看護学校生の戴帽式が行われました

令和元年11月29日、気仙沼市医師会附属准看護学校において戴帽式が行われ、気仙沼保健福祉事務所からも所長が出席し、祝辞を贈りました。

戴帽式は、看護の道を志願しその適正を認められた者へナースキャップが授与される式であり、晴れて戴帽を認められた気仙沼医師会附属准看護学校第67期生の皆さんは、看護の使命と責任を改めて感じられたことでしょう。



准看護学校生の皆さんはこれから実習や資格試験などへチャレンジしていくこととなりますが、看護業務を通して地域医療を担い、住民の皆さんの支えとなれるよう、心から期待します。

✿ 編集後記 ✿

10月に発生した台風19号は宮城県内に大きな影響を与えました。気仙沼保健福祉事務所の職員数名も被災地支援に携わりました。1日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。一気に寒くなりインフルエンザの流行も始まっています。体調管理にお気をつけてお過ごしください。(次号は1月の発行予定です)

気仙沼保健福祉事務所情報誌「ふかひれ通信」はこちらから！↓

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-health/fukahire-top.html>

※ご感想・ご意見お待ちしております。

担当：気仙沼保健福祉事務所広報委員会

電話：0226-22-6661 メール：fukahire@pref.miyagi.lg.jp

